

## 在セネガル日本国大使館月報

2024年5月

### 主な出来事

#### セネガル

##### (内政)

- 15日、ソンコ首相(PASTEUF 党首)は、フランスの政党「不服従のフランス」のメランション党首と会談した(両者は政党間パートナーとして会談したことを強調)。17日、両者はダカール大学で将来のアフリカ・ヨーロッパ関係をテーマに講演し、人道主義と人間の独立に基づいた世界を構築すべきとの認識を示した。(16、17日 Le Soleil)

##### (外政)

- 16日、ファイ大統領はナイジェリアを訪問し、ティヌブ大統領と西アフリカ情勢を協議するとともに、二国間協力の新戦略を掲げることを公表した。続いて17日、同大統領はガーナを訪問し、アクフォ・アド大統領と西アフリカ地域情勢について協議した。(17、18日 Le Soleil)

##### (社会)

- 10日深夜1時頃、ダカール国際空港で、航空会社 Transair が運航する米ボーイング社製小型機 737-300(マリ・バマコ行き)が離陸時に機体が滑走路から外れ、火災が発生するという事故が発生した。乗客85名のうち負傷者11名(うち4名重体)となった。(10日 Le Soleil)

#### カーボベルデ

- 23日、政府は中国と保健セクターの能力強化を目的に、中国からの医療団をカーボベルデに派遣することを合意した。また、中国は4万3千ユーロ相当の医療機材を供与した。(23日 Expresso das Ilhas)
- 27日、日本政府による対カーボベルデ災害・緊急時の給水能力強化支援(無償資金協力)の引渡式が実施され、5台の車両が供与された。(29日 governo)

#### ガンビア

- 3日、イスラム協力機構の首脳会議を控え、バロウ大統領はエルドアン・トルコ大統領(首脳会議欠席予定)と電話会談を行い、ムスリム共同体の利益と両国官関係の強化について協議した。(3日 The Point)
- 4-5日、首都バンジュールにて第15回イスラム協力機構首脳会議が開催された。バロウ大統領は、開会式で経済協力と文化交流を促進し、貧困、教育、保健分野での課題に取り組んでいく必要性を訴えた。加盟国は、ガザのパレスチナ人に対する、即時かつ無条件の停戦と全面的な侵略の停止を呼びかけた。(6日 The Point)

#### ギニアビサウ

- 9日、エンバロ大統領はロシアの戦勝記念日の祝祭に出席し、両国間の強固なパートナー関係を今後も続けていきたいとの発言を行った。プーチン露大統領は、世界の多極化の強化と安全保障問題について両国の立場は近く、重要課題につき関係を維持していきたいと述べた。(12日 radiobantaba、O Democrata)

・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:ファル・アフリカ統合・外務大臣→ファル外務大臣など)

## **セネガル**

### **(内政)**

#### **内政一般**

- 1日、ファイ大統領は、雇用促進と労働者保護のため、労働法制を改革するよう首相と関係者に要請した。(1日 APS)
- 15日、ソンコ首相(PASTEF 党首)は、フランスの政党「不服従のフランス」のメランション党首と会談した(両者は政党間パートナーとして会談したことを強調)。17日、両者はダカール大学で将来のアフリカ・ヨーロッパ関係をテーマに講演し、人道主義と人間の独立に基づいた世界を構築すべきとの認識を示した。(16、17日 Le Soleil)
- 20日、セネガル軍は、中北部の町ドジにて、暴力的過激主義に対抗するため軍の防衛能力を強化する目的で、米国、オランダとともに合同演習を開始した。30日まで実施される。(22日 Le Quotidien)

### **(外政)**

#### **二国間・多国間関係**

- 2日、ファイ大統領は、韓国大統領特使を迎え、同特使より韓国・アフリカサミットの招待を受けた。またアフリカ開発銀行総裁及び西アフリカ諸国中央銀行総裁と投資及び経済改革について協議した。(3日 大統領府 X)
- ファイ大統領は、4-5日にガンビアで開催された第15回イスラム協力機構の首脳会合に出席した。会議の演説で、主権国家を求めるパレスチナの要求を支持し、ガザの即時停戦と二国家解決に向け、イスラム共同体の動員を求めた。(4日 大統領府 X、Le Soleil)
- 6日、ファイ大統領及びファル外務大臣は、セネガルを訪問したマレーシアの外務大臣と二国間関係の強化について協議した。(6日 大統領府 X)
- 7日、ファイ大統領はコートジボワール・アビジャンを訪問し、ウワタラ大統領と農業、畜産業、教育、エネルギー、安全保障等の分野での協力について協議した。(8日 Le Soleil)
- 11日、ファイ大統領はセネガルを訪問したカガメ大統領を迎え、二国間協力について協議した。(11日 大統領府 X)
- 16日、ファイ大統領はナイジェリアを訪問し、ティヌブ大統領と西アフリカ情勢を協議するとともに、二国間協力の新戦略を掲げることを公表した。続いて17日、同大統領はガーナを訪問し、アクフォ・アド大統領と西アフリカ地域情勢について協議した。(17、18日 Le Soleil)
- 24日、ファイ大統領はカーボベルデを訪問し、ネーヴェシュ大統領と西アフリカ情勢について協議した。続いて25日、同大統領はギニアを訪問し、ドゥンブヤ暫定大統領と会談した。(25日、27日 Le Soleil)
- 30日、ファイ大統領は、マリのゴイタ暫定大統領と会談し、両国の友好関係を維持していく意欲を示した。同日、ブルキナファソを訪問し、トラオレ暫定大統領とも会談した。(31日 Le Soleil)
- 30日、ファイ大統領は国連の教育に関するハイレベル会合(ビデオ会合)に出席し、アフリカの遅れを解消するためには教育改革を実施しなくてはならないとの認識を示した。(6月1日 Le Soleil)

### **(経済)**

#### **経済一般**

- 4月25日から5月3日にかけてセネガルを視察訪問したIMF調査団の Gemayel 団長は、2023年のセネガルの経済成長率は期待を上回る4.6%に達したとしつつ、2024年の成長率を当初予想の8.

3%から7.1%に引き下げた。(4日 Le Soleil)

- 22-23日、西アフリカ諸国中央銀行(本部ダカール)の金融安定化委員会は、UEMOA域内での即時決済と送金を保証するプラットフォームを今年導入することを公表した。(24日 Le Soleil)

## (社会)

- 10日深夜1時頃、ダカール国際空港で、航空会社 Transair が運航する米ボーイング社製小型機 737-300(マリ・バマコ行き)が離陸時に機体が滑走路から外れ、火災が発生するという事故が発生した。乗客85名のうち負傷者11名(うち4名重体)となった。(10日 Le Soleil)
- 9日、マタム市保健局は、同市のボキジャウエ村にてクリミアコンゴ熱1例が確認されたことを公表した。感染者は疫学監視下に置かれ、伝染を防ぐための措置を講じているとした。(9日 APS)
- 15日、高速輸送バス(BRT)の運行が始まった。運行開始から1週間で20万人を輸送した。(22日 Le Soleil)
- 16日、ソンコ首相は雨季の洪水に対応すべく22の対策を承認し、関係大臣に実行するよう指示した。(17日 Le Soleil)
- 27日、保健省エイズ対策局の局長は、エイズウイルスの新規感染者が毎年減少傾向にあり、直近では1年で900件にまで減少したことを公表した。主な感染者は、青年期のグループで特に若い女性が多い。(27日 APS)

## カーボベルデ

- 2日、世界銀行はカーボベルデの持続可能な観光とブルーエコノミーを促進することを目的に、3千万米ドルを拠出することを承認した。(2日 Expresso das Ilhas)
- 3日、8名の医師から成る中国医療チーム(2022年9月から活動開始)は、20か月の任務を終えた。任務期間中には、約3,200件の診察、2,866件の手術を行った。(6日 Expresso das Ilhas)
- 6日からアメリカテキサス州ダラスで開催されている米アフリカビジネス・サミットにネーヴェシュ大統領が参加した。また、同大統領は、ミレニアム挑戦公社設立20周年記念式典に出席した。(7日 balai CV)
- 13日、違法漁業活動への対策の一環で、カーボベルデとギニアビサウの裁判官、検察、漁業専門家らを対象とし、法体系の欠陥を分析するワークショップが17日までの予定で始まった。
- 22日、信用格付け機関フィッチ・レーティングスは、カーボベルデの経済成長の見通しがよく、税制状況も良好であるとの理由で、同国の信用格付けをB-からBに格上げした。(22日 balai CV)
- 23日、政府は中国と保健セクターの能力強化を目的に、中国からの医療団をカーボベルデに派遣することを合意した。また、中国は4万3千ユーロ相当の医療機材を供与した。(23日 Expresso das Ilhas)
- 27日、日本政府による対カーボベルデ災害・緊急時の給水能力強化支援(無償資金協力)の引渡式が実施され、5台の車両が供与された。(29日 governo)
- 28日、令和5年度対カーボベルデ草の根・人間の安全保障無償資金協力「アソマダ市孤児院における農畜産施設増改築計画」の引渡式が開催された。(28日 rtc)
- 29日、対カーボベルデ草の根・人間の安全保障無償資金協力「プライア市救急車整備計画」引き渡し式が実施され、救急車が供与された。(29日 terranova)

## ガンビア

- 1日、メーデーを迎えガンビア貿易組合は、政府に対して労働者の最低賃金の引き上げと労働環境の改善を要求した。(2日 The Point)
- 3日、イスラム協力機構の首脳会議を控え、バロウ大統領はエルドアン・トルコ大統領(首脳会議欠席予定)と電話会談を行い、ムスリム共同体の利益と両国官関係の強化について協議した。(3日 The Point)
- 4-5日、首都バンジュールにて第15回イスラム協力機構首脳会議が開催された。バロウ大統領は、開会式で経済協力と文化交流を促進し、貧困、教育、保健分野での課題に取り組んでいく必要性を訴えた。加盟国は、ガザのパレスチナ人に対する、即時かつ無条件の停戦と全面的な侵略の停止を呼びかけた。(6日 The Point)
- 国際NGOの国境なき記者団により発表された報道の自由度ランキングで、ガンビアはアフリカ10位、世界で58位(日本は70位)に位置づけられた。(6日 The Point)
- 17日、在ガンビア中国大使館は、国際中国語デーを開催し、式典において40名のガンビア人留学生を中国に受け入れることを公表した。2016年以来300名のガンビア人が中国に留学した実績がある。(20日 The Point)
- 漁業・水産省傘下の水産資源局は、今年6月-9月の雨季には例年の平均を超える降雨量が予想され、天水農業が主体のガンビア農業に影響を及ぼすとの見方を示した。(28日 The Point)
- 29日、ガンビア港湾局は、アフリカ開発銀行の支援を受け、港の拡張事業を開始した。今次の拡張工事で4回目となる。(30日 The Point)
- 31日、ガンビアで10年に一度実施される国勢調査が始まった。調査はタブレット端末や地理情報システムを用いて実施され、データはデジタル化される。(6月1日 The Point)

## ギニアビサウ

- 2日、バルボサ大統領府報道官は、リスボンにて、国際社会からの支援を得るべく選挙プロセスの信頼性を確保しようと尽力していることを強調しつつも、資金不足のため議会総選挙の日程が定められないことを述べた。(2日 DW)
- 5-7日にかけてギニアビサウを訪問中のゲレ・ジブチ大統領を迎え、海上・航空輸送、観光、インフラ、港湾管理等について協議した。(6日 O Democrata)
- 6日、エンバロ大統領は、軍隊創設60周年を期して大規模行進を開催し、式典に外国の賓客を招待することを公表した。(6日 noticias ao minuto)
- 7日、新任の駐ギニアビサウ中国大使はエンバロ大統領に信任状を奉呈した。同大使は、メディアの前に二国間関係を強化していきたい旨語った。(12日 O Democrata)
- 9日、エンバロ大統領はロシアの戦勝記念日の祝祭に出席し、両国間の強固なパートナー関係を今後も続けていきたいとの発言を行った。プーチン露大統領は、世界の多極化の強化と安全保障問題について両国の立場は近く、重要課題につき関係を維持していきたいと述べた。(12日 radiobantaba、O Democrata)
- 20-21日、ビサウにてポルトガル語圏の軍参謀長が集まる会議が開催され、そこで参加国における政治・軍事状況、安全保障、防衛問題について協議された。(21日 O Democrata)

(注)本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。  
記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかね  
ますのでご了承下さい。

(了)